

I. K. 英語英文学科・3 年次

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

大学入学当初から留学に行きたいという思いがありました。留学を目指した一番のきっかけは、高校 2 年生の時に学校の海外研修で 1 週間ほどカナダに行き、異文化や様々な国の人と交流することに興味を持ったからです。大学入学後、協定大学留学という制度があることを知り、プログラム内容に惹かれて協定大学留学を目指し始めました。

② 留学を目指してから出願までの語学学習方法

選考には、学内成績・IELTS もしくは TOEFL スコア・エッセイ・面接が含まれていました。授業や課題には真面目に取り組み、語学力向上のためには学内の English Speaking & Writing Support を積極的に利用したり、フィリピンの友人からオンライン英会話を受講したりしていました。また私は IELTS 受験を選択し、1 回目は自分の実力を見るため、2 回目はしっかりと勉強した上で受験し必要スコアを取得しました。勉強方法は、攻略本などで問題形式や問題の解き方のコツを知り、過去問題を何度も解くということをしました。

③ 留学決定から出発までの準備期間

決定後は、国際課の方が準備してくださった計画に沿って準備をしていきます。私の場合、出発は春の予定でしたがコロナの影響で渡航することができず、春学期の間はオンラインで語学学校の授業を受けていました。その後渡航できることが決定しましたが、知らされた時には出発予定日まであまり時間がなく、ビザの申請やワクチン・予防接種など様々な準備を短期間で終えなければならなかったのが大変でした。できるだけ早めに準備を進めておくことをおすすめします。

④ 現地到着後

乗り換え地のシカゴで飛行機が 2 回キャンセルになり、ピッツバーグには予定より 1 日以上遅れて到着しました。本来なら空港まで大学の方が迎えに来てくれますが、私は到着が朝の 4 時頃になってしまったため、大学まで自分で手配したタクシーで向かいました。オリエンテーション期間は、大学についての説明や書類の記入があったり、大学周辺のツアーや様々なイベントがありました。

⑤ 語学研修期間

◆ 語学研修先の施設・環境について

Zoom を使ったオンライン形式で受講しました。私は日本に居たため時差の関係もあり、月曜から木曜日の午後 9 時から 12 時までの時間で受講していました。生徒 5 人と先生 1 人、インターン生が 1 人の少人数クラスで、授業中も発言しやすくすごくアットホームな雰囲気でした。サウジアラビア・チリ・ブラジル・ベトナムなど国は様々で、日本人は私 1 人で

した。

◆ **授業内容、課題、試験**

授業は自分で選ぶことはできず、Reading、Writing、Speaking、Pittsburgh について学ぶ授業の 4 つでした。インプットよりもアウトプットをする機会が多い印象で、ディスカッションなどで自分の意見を発表したり、パワーポイントを使って様々なテーマに関してプレゼンテーションすることが多かったです。課題は最初少し大変に感じましたが、毎日コツコツやればできるレベルの量と難易度だと思います。最終課題（試験）に関しては、授業で学習したことの復習、与えられたテーマについてのレポートやプレゼンテーション（個人・グループ）、Speaking の授業では先生と一対一のインタビューなどがありました。

⑥ **正規科目履修期間**

◆ **大学の施設・環境について**

キャンパスはそこまで広くなく、教室移動はとても楽でした。スポーツ系やアート系の授業の教室は少し離れた場所にあります。キャンパス内には大きな芝生や自然が多くあり、建物もレンガ造りの綺麗な建物が多くとても綺麗で、キャンパス内を散歩するのがとても好きでした。どの授業も少人数で行われ、分からないことがあればすぐに質問でき、先生との距離が近いように感じました。図書館は 24 時間空いている部屋があり、夜中でも利用することができます。また個人やグループで図書館内の個室を予約して利用することができ、自分の部屋で勉強に集中できないときはよく利用していました。

◆ **履修科目**

・ **COM209 Intercultural Communication Values and Ethics**

異文化コミュニケーションに興味があり履修しました。教科書・PPT を使用して、異文化コミュニケーションについての基本的な知識から日常生活に活かせる様な内容まで幅広く学ぶことができます。ディスカッションを通して、これまでの経験や自分の考え方を発表する機会が多かったです。

・ **ELI191 US Culture I**

留学生を対象とする授業です。アメリカの様々な文化や歴史などを学ぶことができ、アメリカ生活で実際に役に立つ知識をたくさん得ることができました。またアメリカの文化だけでなく、様々な国出身のクラスメイト達とのディスカッションを通して、様々な国の文化や考え方を知ることができとても興味深かったです。

・ **SWE321 Social Welfare and Social Justice**

アメリカの社会福祉制度の歴史、過去から現在まで制度がなぜ・どのように変化してきたかを学ぶことができます。ディスカッションなどはあまりなく、先生の講義を聞くのがメインの授業形態でした。

・ FDT161 Introduction to Film Video and New Media Art

映画の歴史や制作方法、映画内で使われている様々なテクニックについて学びます。様々な国の映画を鑑賞し、クラス全体で感想や実際にどのようなテクニックが使われていたかをディスカッションしました。

・ PED108 Yoga and Relaxation Level I

暖かく天気の良い日は、キャンパス内の芝生で行われます。日光を浴びながらするヨガはとても気持ちよく、日頃の疲れやストレスが軽減できたように感じます。ヨガマットや大きめのタオルが必要になるので、自分で用意する必要があります。

・ PED113 Hip Hop Dance Level I

ジャンルや曲は毎週異なり、先生が振り付けた短めの振りを皆で踊ります。先生がとてもフレンドリーで面白く、ダンス未経験者もたくさん居たので、未経験でも興味があれば挑戦できると思います。

◆ 授業、レポート、定期試験

授業はどれも少人数で行われます。オンラインの授業もありましたが、ほとんどが対面で行われていました。全体的に、授業をただ聞くのではなく、ディスカッションなどで皆の意見をシェアする機会が多かったです。課題の量は多く最初は大変でしたが、徐々に慣れ自然とこなせるようになっていきます。定期試験は、これまで学んだ知識を問われるテスト形式と、レポートやプレゼンテーションなどで学んだ知識を使って自分の考えをまとめたり発表したりするものがありました。

⑦ オンライン授業以外の時間の過ごし方

オンライン授業受講期間は日本にいて夜に授業があったので、日中にアルバイトや課題をしたり友人と遊んだりしていました。

⑧ クラブ、課外活動、ボランティア活動

クラブやボランティア活動には特に参加していません。学内・学外問わず、イベントなどには積極的に参加するようにしていました。

⑨ 現地で住まい

私は学内にある Chatham Apartment という寮に住んでいました。ルームメイトは 1 人で、各自自分の部屋があり、リビング・キッチン・風呂トイレは 2 人で共用です。洗濯は寮内にランドリールームがあり、寮の住人全員で共用なので、事前に予約する必要があります。キャンパス内にあるので通学はとても便利です。キッチンも広いので自炊することもできますが、私はミールプランを購入していたこともあり学内の食堂をよく利用していました。

⑩ 長期休暇の過ごし方

ピッツバーグを散策したり、旅行に行ったりしました。私は、フロリダのディズニーワールド、ニューヨーク、シカゴ、ロサンゼルスに行きました。

⑪ 留学期間中の就職活動の取り組み

特になにもしていません。

Ⅱ. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

たくさんの文化や価値観の異なる友人達に出会えたことは本当に貴重な経験で、一番良かったと思っています。また旅行が好きなので、アメリカの様々な場所に行くことができたことも本当に良かったと思っています。帰国前にロサンゼルスで見た海に沈んでいく夕日の景色は一生忘れない景色だと思います。

② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

正規授業が始まったばかりの時は、慣れない環境に戸惑い、授業内容やディスカッション内容をほとんど理解することができずとてもつらかったです。しかしその後友人もでき、自然と少しずつ慣れ理解できるようになってくると思うので、あまり不安になりすぎることはないと思います。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

日本人と比べてフレンドリーな人が多く、知らない人でも急に洋服を褒めてくれたり、話しかけられたりして最初は戸惑いました。また物価の高さに驚き、スーパーなどで買い物をしても日本の倍以上の金額になるので節約するのが大変でした。

Ⅲ. オンライン留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学でのオンライン受講に関して良かった点、悪かった点

オンラインで特に困ったことはなく、良かった点としては渡航する前に友達が作れた点だと思います。渡航後授業が始まるまではなかなか友達を作れる機会は少ないと思うので、到着後すぐに遊べる友達がいたことはとても心強かったです。悪かった点は、時差の関係で授業が夜であった点とグループ課題の準備をする際に時差の関係で時間の調整が難しかった点です。授業は夜といっても 0 時までには終わったので、昼夜逆転するなどということはなく、私は特に問題ありませんでした。

② オンライン受講に際し、特に役に立ったもの

パソコンがあれば十分だと思います。

③ 語学力の向上等、オンライン受講の成果、受講前と後で変わったこと

語学力の向上もちろんですが、一番大きく変わったことは、英語を話すことに躊躇しなくなったことです。受講前は、英語を話すことにどこか恥ずかしさがあり、間違えたらどうしようなどと考えてなかなか話し出すことができなかったのですが、間違いを恐れることなくとにかく話してみること、文法などが間違っていってもなんとか伝えようとするのが一

番の上達方法であることを学びました。

④ これからオンライン留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

オンラインでの授業を不安に思ったり、意味があるのかと思う方も多いかもしれません。しかし私は、オンラインでも十分受講する価値があると思います。語学力の向上をしっかりと感じることができましたし、一緒に英語を学ぶ仲間を世界中に作ることもできると思います。もちろん現地で学べるに越したことはありませんが、もし迷っているなら受講してみることをおすすめします。

IV. 派遣留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

あまり規模の大きい大学ではないので、授業も少人数制でアットホームな雰囲気があります。そのため同じ生徒と何個も同じ授業を受講しているということもよくあり、知っている人がいる安心感と仲良くなりやすいという利点があると思います。ただその分グループができやすく、仲良しのグループで固まりやすい印象がありました。大学周辺にはレストランやスーパーが沢山あり、学生証があればバスも無料なので、ピッツバーグ内の移動はとても便利でした。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコンは必須です。しかし私は持参したパソコンを渡航後すぐに壊してしまい、アメリカで修理することはできなかったのですが、学校に相談すると帰国するまで学校のパソコン（MacBook）を借りることができました。生理用品や薬は日本から持って行く方がいいと思います。大体の物は現地で購入することができるので、特に困ったことはありませんでした。

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

様々な文化や背景を持った人々に出会い、自分自身の視野がすごく広がったと感じています。今まで自分の中では考えられないと思っていたような考え方や文化にも、興味や好意を持って寄り添い受け入れ、尊重するべきだということを改めて学びました。また人の大切さにも改めて気付かされた期間でした。日本で応援してくれている家族や友達の存在、留学先でつらい時に寄り添ってくれた友人や先生達など、沢山の人の優しさや温かさに触れ、周りに人が居てくれることは当たり前じゃなく、そんな人達を大切にしていかなければならないと考えるようになりました。語学力については、帰国直前にオンラインで TOEIC を受ける機会があったのですが、前回から大幅に点数が UP していて、特にリスニングはほぼ満点をとることができました。

④ これから派遣留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

見知らぬ環境に飛び込むことへの不安や渡航後につらいことが沢山あると思います。私も

留学中に何度もやめたい、日本に帰りたいと思ったことがありました。しかし終わってみると、つらかったこと、頑張ったこと、全部がすごく貴重な経験で大切な人生の宝物になると思います。必ずこの経験は将来役に立つと信じています。留学期間は、長いようであつという間に時間は過ぎてしまいます。吸収できる物は全部吸収して、沢山遊んで沢山寝て、悔いのない最高の時間を過ごしてください。

V. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

留学を通してさらに人と関わることが好きになったので、様々な人に出会い関われるような、そして人々を幸せにするものやサービスを提供できるようなお仕事に就きたいと考えています。また常に新しいことに挑戦し続けていくことが今後の目標です。

VI. 写真



一番仲の良かった 2 人です。この 2 人の存在には何度も救われました。



HipHop の授業の最終課題として、
自分たちで振り付けたダンスをこのグループで踊りました。



サンタモニカで見た夕日です。



ハロウィンパーティーの時の写真です。皆で仮装をして楽しみました。



クリスマスシーズンは街全体がキラキラしていて本当に素敵でした。